

【別紙5】新型コロナウイルス等の感染症対策について

当日の運営や設営・撤去等全ての業務は以下のとおり新型コロナウイルス等の感染症対策を徹底して行うこと（感染状況に応じた対応を取る）。また、対策に必要な備品の手配等は全て委託業務の中で行うこと。

1 全体運営について

- ホール内の人数（ゲスト、関係者を含む）は会場管理者が示すガイドライン等の上限人数を超えないように管理すること。
- 入り口に千葉市のコロナ追跡アプリやCOCOA等のQRコードを掲示して登録を勧めるなど、感染者が発生した場合に追跡が可能となるようにすること。
- 来場者の連絡先を把握すること。
- 入口付近に受付を設け、検温を行うこと。また、来場者用の消毒液を設置し、手指の消毒を促すこと。
- 入口と出口を分けて混雑が発生しないよう努めること。
- スタッフは感染防止対策（マスク着用・手洗い徹底・手指消毒等）を行うこと。また、必要に応じてアクリル板・ビニールカーテンの設置や手袋・フェイスガードの着用等も行うこと。
- ソーシャルディスタンスを確保するよう、注意喚起の掲示・座席配置や会場レイアウトの工夫、当日誘導等を適宜行うこと。

例：

- ・待機列が生じる場合1 m以上（可能ならば2 m以上）の間隔を空けて並ぶよう誘導する。
- ・参加者の動線が混雑しないよう、掲示・床へのテープ貼付等の目印等で動線を示す。
- 資材（パンフレット等）は机上・ラックに置いて各自取るなど、直接手渡しをしない工夫をすること。
- 高頻度接触部位（机・椅子・ドアノブ・手すり・トイレ・その他備品等）の消毒を定期的に行うこと。
- 関係者の緊急連絡網、中止する場合の周知方法及び新型コロナウイルス感染疑いのある者が発生した場合の対応等、緊急時の対応を県と協議の上、事前に定めること。

2 ステージプログラムについて

- 各プログラムは原則事前申込制とし、応募者多数の場合は抽選等を行い、観覧者を決定すること。なお抽選や当選通知等の一連の業務は委託業務の中で行うこと。

なお、複数のプログラムをまとめてグループとし、グループごとに事前申込を受け付けることも可とする。

- 観客席は席同士が密着しないよう配置し、観覧者の入れ替わりの際に座面の消毒を行うこと。
- ステージと観客席の最前列との距離を十分に保つこと。
- マイク等の器具は、人数分用意するなど複数人で触れないようにし、都度消毒すること。
- ステージ上での出演者同士の距離を十分に保つこと。困難な場合は出演者間にパネルを設置する、マウスシールドを用意する等の対策を取ること。
- 練り歩きのような会場内でのパフォーマンスは行わず、原則ステージ上で完結するプログラムとすること。

3 ブースについて

- 来場者の動線や待機列等を考慮し、三密が発生しないよう配慮したブースの配置とすること。
- 自由提案でワークショップ等を実施する場合は、キットなど一人一つで完結し、複数人で同じ器具に触れないこと（器具を人数分用意する、都度消毒して使用する場合は可とする）。
- 複数人が同時に遊ぶことができる遊具等は設置しないこと。
- 金銭の受け渡しをするブースやキッチンカーではキャッシュレス決済の導入、又は釣銭等を直接手渡しせず、トレーなどを使う方法を検討すること。
- 休憩スペースの机や椅子を定期的に除菌・清掃すること。
- 各ブースや来場者が集中しやすい場所に消毒液を設置すること。

4 その他

- 本書に記載されている事項の他、国、県指針及び幕張メッセにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドラインに従うこと。